

平成22年5月6日現在

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2007～2010

課題番号：19520543

研究課題名（和文）朝鮮古代中世金石資料の形態と銘の歴史・文化学的調査と研究

研究課題名（英文）Research and study on monumental inscriptions of ancient mediaeval period in Korea

研究代表者

濱田 耕策(HAMADA KOSAKU)

九州大学・大学院人文科学研究院・教授

研究者番号：40137881

研究代表者の専門分野：朝鮮史学（古代史）

科研費の分科・細目：史学・東洋史学

キーワード：新羅・梵鐘・高句麗・碑文・百濟・釈文・拓本

## 1. 研究計画の概要

- (1) 朝鮮の古代・中世の金石資料の現地調査と日本所在の拓本調査とによって、その碑文・銘文の解読を進める。
- (2) 上記の調査によって、これまで誤釈文のままに理解されていた朝鮮古代・中世の歴史理解に新知見を提供することができる。
- (3) これらの調査と研究によって、王朝側が編纂した正史に現れ難い朝鮮の思想史や社会史を解明する道が開かれるとともに、獲得された朝鮮の固有と伝来の新鮮な歴史認識を社会に提供することが期待される。

## 2. 研究の進捗状況

- (1) 長年の宿題であった新羅時代（771年 鑄造）の梵鐘「聖徳大王神鍾」の銘文を現代日本語に訳した。新羅時代の漢文作品の粹とともに新羅の国家観と同時代の政治史を理解することに有益な成果となっている。
- (2) 古代の新羅と日本との交流史の一旦を記録した新羅側の碑文（誓幢和上碑）について、碑石とその拓本を調査した。このことによって、2文字を新たに釈読した。これによって、両国文化交流の確かな足跡を確認した。
- (3) 高句麗の広開土王碑は高句麗史をはじめ、古代の日本と朝鮮半島南部の百濟、新羅、任那との関係史の研究に重い位置にある。この碑の研究に係わった日中の文人、研究者の業績を研究史上に正当に位置づけた武田幸男氏の著作、また同碑から作製された各種の墨本（各種拓本の総称）を分

類し編年された同氏の著作をともに書評した。武田氏の近年のこの二つの著作は金石資料を歴史資料として使用することにおいて、基本かつ必須の作法であることを紹介した。

- (4) 朝鮮の古代・中世の金石資料を現地調査することは欠かせないが、その困難を補う作業として、日本国内に所在する拓本を調査することが可能である。日本国内には植民地時代以来、朝鮮の金石文の拓本は多数に持ち込まれており、各地の史料保存機関に保存されている。そこで研究とともに「日本所在の朝鮮金石拓本目録」のデータを順次に充実しつつある。
- (5) 調査の成果および調査対象についてのこれまでの理解を学部教育に採用している。本年度は朝鮮史学演習「朝鮮史を理解する基本史料」のなかで、古代・中世の代表的な金石資料を紹介、そこから歴史を引き出す手法を提示している。

## 3. 現在までの達成度

「②おおむね順調に進展している」  
概ね初期の課題を遂行している。金石文の現地調査と拓本調査を裏付けとして公表した成果は貴重であると、自己評価している。またその成果と課題を教育のなかで紹介し、かつ課題を鍛えていることは将来の研究展望を開くに有効に作用している。

## 4. 今後の研究の推進方策

- (1) 古代の百濟の「劉仁願紀功碑」および朝鮮王朝の「北関大捷碑」の現地調査と釈文調査、および関連する文献との対照作業を推進し、その成果を公表する。

- (2) 「日本所在の朝鮮金石拓本目録」のデータの充実を進める。
- (3) 最終年にあたり、本研究の課題と成果の整合を進め、本課題の発展的課題を展望する。

[その他] なし

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ① 濱田耕策 書評「武田幸男著『広開土王碑墨本の研究』」(『歴史評論』2010年 投稿済み 査読無)
- ② 濱田耕策「学習院大学東洋文化研究所所蔵の高句麗広開土王碑拓本の資料的意義」  
「広開土王碑拓本」(『知識は東アジアの海を渡った—学習院大学コレクションの世界—』丸善プラネット、102～110頁 2010年1月 査読無)
- ③ 濱田耕策「新羅誓幢和上碑の二字—薛仲業の来日をめぐって—」(『韓国古代史研究の現段階』周留出版社 701～709頁 2009年5月 査読無)
- ④ 濱田耕策「現代日本語訳『新羅聖徳大王神鍾之銘』」(『史淵』第146輯 81～100頁 2009年3月 査読無)
- ⑤ 濱田耕策 書評「武田幸男著『広開土王碑との対話』」(『朝鮮学報』第209輯 83～91頁 2008年10月 査読無)

[学会発表] (計1件)

- ① 濱田耕策「新羅聖徳大王神鍾之銘の邦訳および銘の史的意義」九州史学会・平成20年度大会・12月14日 九州大学

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：